学校番号	1015

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)韓国・朝鮮語Ⅱ	2	3	高校生のための韓国朝鮮語 新好きやねん　ハングルⅡ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・韓国・朝鮮語Ⅰで学んだことを基に、身近な事柄について少し難しい韓国・朝鮮語で表現できるようにするための知識をさらに理解しましょう。
・身近な事柄についての少し難しい韓国・朝鮮語を聞いたり読んだりして、それについて韓国・朝鮮語で表現しましょう。
・学習について振り返りながら、協力してより主体的に学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な韓国・朝鮮語１文を聞き取り、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、本人自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることがでる。	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を、挿絵や写真を参考にしながら正しくその内容と要点を理解することができる。 ・日常的な内容でより具体的な事柄について書かれた韓国・朝鮮語の文を読み、その内容を理解することができる。	・日常的な事柄について、2 文以上の韓国・朝鮮語でやり取りしながら、質問したり答えたりすることができる。 ・基本的な語や表現を用いて、2 文以上の韓国・朝鮮語でお互いの意見や情報を交換することができる。	・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、2 文以上の文で説明することができる。 ・身近なトピックや日常的な事柄をテーマにして、相手に伝えることを意識しながら発表することができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なことについて 2 文以上のつながりのある文を書くことができる。 ・身近なトピックや日常的な事柄について、自分の意見やその理由を交えながら複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、文法、機能などの理解をさらに深めるとともに、これらの知識・技能を「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じてより正確に活用している。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で概要や要点、相手の意図などをさらに理解し、より適切に表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解をさらに深め、相手に配慮しながら、より主体的、対話的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	第 1 課 第 2 課 第 3 課 第 4 課	聞くこと	a: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、正確に理解している。 b: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、正確に理解している。 b: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	音読 ワークシート
		話すこと （やり取り）	a: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、正確に表現している。 b: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （発表）	a: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、正確に表現している。 b: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、正確に表現している。 b: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 目標や予定、時間や場所について音声や機能を理解しながら、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ワークシート プレゼンテーション
	中間考査			
	第 5 課 第 6 課 第 7 課 第 8 課	聞くこと	a: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて正確に聞くことできる。 b: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、自己紹介について主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、自己紹介について主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、正確に理解している。 b: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査
		話すこと （やり取り）	a: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、正確に表現している。 b: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （発表）	a: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、正確に表現している。 b: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	プレゼンテーション

		書くこと	a: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、正確に表現している。 b: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 経験の有無やたずねたり教えたりすることについて、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ワークシート プレゼンテーション 考査
	期末考査			
2	第 9 課 第 10 課 第 11 課	聞くこと	a: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、身近なことや自分のしたいことについて正確に聞くことできる。 b: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、身近なことや自分のしたいことについて正確に理解している。 b: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	音読 ワークシート
		話すこと (やり取り)	a: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、身近なことや自分のしたいことについて正確に表現している。 b: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現している。 c: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （発表）	a: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、身近なことや自分のしたいことについて正確に表現している。 b: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現している。 c: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現しようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、身近なことや自分のしたいことについて正確に表現している。 b: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現している。 c: 追加説明や道案内、許可取りや依頼に関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、身近なことや自分のしたいことについて主体的、対話的に表現しようとしている。	ワークシート プレゼンテーション
	中間考査			
	第 12 課 第 13 課 第 14 課	聞くこと	a: 写真に写っているものや人に対する説明について、正確に聞くことできる。 b: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: 写真に写っているものや人に対する説明について、正確に理解している。 b: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	音読 ワークシート 考査

		話すこと (やり取り)	a: 写真に写っているものや人に対する説明について、正確に表現している。 b: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （発表）	a: 写真に写っているものや人に対する説明について、正確に表現している。 b: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 写真に写っているものや人に対する説明について、正確に表現している。 b: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現している。 c: 写真に写っているものや人に対する説明について、支援を活用し、主体的、対話的に表現しようとしている。	ワークシート プレゼンテーション 考査
	期末考査			
3	第 15 課 第 16 課	聞くこと	a: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、自分のできごとについて正確に聞くことできる。 b: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	リスニング ペアワーク プレゼンテーション
		読むこと	a: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、自分のできごとについて正確に理解している。 b: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に相手の意図を理解している。 c: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に相手の意図を理解しようとしている。	音読 ワークシート
		話すこと (やり取り)	a: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、自分のできごとについて正確に表現している。 b: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現している。 c: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現しようとしている。	ペアワーク
		話すこと （発表）	a: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、自分のできごとについて正確に表現している。 b: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現している。 c: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現しようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、自分のできごとについて正確に表現している。 b: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現している。 c: プレゼンテーションや感謝の気持ちに関する表現の音声や機能を理解しながら、支援を活用し、自分のできごとについて主体的、対話的に表現しようとしている。	ワークシート プレゼンテーション
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度